



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <https://www.starzen.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 中津瀨 健
 問合せ先責任者(役職名) 経理本部長(氏名) 相田 邦明 (TEL) 03-3471-5521
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	172,558	△0.9	1,291	△36.4	2,100	△24.5	1,405	△23.6
2019年3月期第2四半期	174,070	5.1	2,029	△30.3	2,782	△24.4	1,838	△27.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,285百万円(△40.7%) 2019年3月期第2四半期 2,167百万円(△22.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	144.32	135.66
2019年3月期第2四半期	190.98	178.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	128,509	52,360	40.7
2019年3月期	125,938	52,244	41.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 52,345百万円 2019年3月期 52,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	120.00	120.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	120.00	120.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	348,000	△0.9	2,600	△45.7	4,100	△36.1	2,800	△38.7	287.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	9,741,191株	2019年3月期	9,741,191株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,730株	2019年3月期	1,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	9,739,552株	2019年3月期2Q	9,627,365株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、2019年11月26日(火)にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における食品業界を取り巻く環境は、所得環境の改善が続き、景気が緩やかに回復する一方、食品に対する消費者の低価格志向が伺えます。また、消費税率引上げ後の食品消費の先行きについては注視を要する状況にあります。

食肉業界においては、販売競争の激化、人手不足による物流費等の増加が重なり、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは『営業力の再生』をテーマに掲げ、さらなる成長に向けた各種施策に取り組んでおります。具体的には、海外事業強化の一環として三井物産株式会社と中国現地パートナーとの3社合弁による食品販売会社を設立し、本年10月より運営を開始しております。また、意思決定の迅速化、組織運営の効率化等を目的に、当社を存続会社とした海外調達子会社及びハンバーグの製造子会社の吸収合併を行いました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は172,558百万円（前年同四半期比0.9%減）と減収となりました。利益面につきましても、加工食品販売の苦戦や物流費・人件費等の増加により営業利益は1,291百万円（前年同四半期比36.4%減）、経常利益は2,100百万円（前年同四半期比24.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,405百万円（前年同四半期比23.6%減）と減益となりました。

事業部門別の営業概況は、次のとおりであります。

<食肉関連事業>

食肉関連事業は輸入牛肉の減収の影響が大きく、売上高は171,216百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

(食肉)

国内事業は、既存取引先との取り組み強化や販売部門と供給部門の連携を活かした商品提案など、営業力の強化に努めました。しかしながら、需要に合わせた調達を徹底することで主に輸入牛肉を中心に調達量が減少し、取扱量、売上高ともに前年同四半期を下回りました。利益面は、中国におけるアフリカ豚コレラの蔓延をきっかけとする輸入豚肉の販売価格上昇などにより売上総利益で増益となりました。

また、カテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉は、消費者の食肉消費量が落ち着きを見せたこともあり、取扱量、売上高ともに前年同四半期比で微増となりました。利益面は、販売競争が激化し利益の取りにくい状況が続き、売上総利益は低迷いたしました。

輸入食肉は、前述のとおり、輸入牛肉の影響が大きく取扱量、売上高ともに前年同四半期を下回りました。利益面は、輸入鶏肉において8月後半以降の荷動き低迷により販売価格が下落するのに対し調達価格は高く、苦戦を強いられました。一方で、輸入豚肉が好調に推移した結果、輸入食肉全体では売上総利益は伸長いたしました。

輸出事業は、国産牛肉の輸出を中心に前年同四半期比で取扱量、売上高ともに伸長し、三井物産株式会社との協業による台湾向けの輸出も順調に推移いたしました。

これらの結果、食肉部門の売上高は137,744百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。利益面は輸入豚肉の貢献が大きく、売上総利益は伸長いたしました。

(加工食品)

加工食品は、スライス商品を中心に販売が順調に推移した結果、取扱量、売上高ともに前年同四半期を上回り、売上高は25,841百万円（前年同四半期比1.8%増）となったものの、ハンバーグ、ローストビーフで当初計画に比べると取扱量が伸び悩みました。結果として、ハンバーグ新工場等の費用負担を十分に回収できず、利益面は苦戦を強いられました。

(ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージは、販売競争が激化しており、取扱量、売上高ともに苦戦を強いられました。結果として、売上高は前年同四半期を下回り6,543百万円(前年同四半期比6.7%減)となりました。また、利益面は取扱量の減少が主な要因となり低迷いたしました。

(その他)

その他の取扱品は、売上高は1,087百万円(前年同四半期比12.6%増)となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、売上高は1,341百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、2,293百万円増加し、80,968百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が減少したものの、商品及び製品や現金及び預金が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、282百万円増加し、47,524百万円となりました。これは、主として関係会社株式や機械装置及び運搬具、のれんが減少したものの、建設仮勘定が増加したことによります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、2,570百万円増加し、128,509百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、1,063百万円減少し、44,649百万円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金や1年内償還予定の社債が増加したものの、短期借入金や買掛金が減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、3,519百万円増加し、31,499百万円となりました。これは、主として社債が減少したものの、長期借入金が増加したことによります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、2,455百万円増加し、76,149百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、115百万円増加し、52,360百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した見通しから変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,246	11,294
受取手形及び売掛金	34,533	31,451
商品及び製品	23,424	27,465
仕掛品	345	563
原材料及び貯蔵品	1,999	2,219
その他	8,225	8,057
貸倒引当金	△100	△84
流動資産合計	78,674	80,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,933	12,880
土地	10,870	10,872
その他（純額）	6,445	6,846
有形固定資産合計	30,249	30,599
無形固定資産		
のれん	345	276
その他	676	711
無形固定資産合計	1,021	988
投資その他の資産	15,970	15,936
固定資産合計	47,241	47,524
繰延資産	22	16
資産合計	125,938	128,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,425	16,280
短期借入金	5,992	3,768
1年内償還予定の社債	—	1,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	2,817	2,817
1年内返済予定の長期借入金	7,555	8,958
未払法人税等	881	784
賞与引当金	1,562	1,723
その他	9,478	9,317
流動負債合計	45,713	44,649
固定負債		
社債	3,100	2,100
長期借入金	19,825	24,822
退職給付に係る負債	1,862	1,875
その他	3,191	2,701
固定負債合計	27,980	31,499
負債合計	73,693	76,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,612	11,612
資本剰余金	12,467	12,467
利益剰余金	26,942	27,179
自己株式	△7	△8
株主資本合計	51,015	51,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,433	1,301
繰延ヘッジ損益	12	19
為替換算調整勘定	△202	△205
退職給付に係る調整累計額	△20	△21
その他の包括利益累計額合計	1,223	1,094
非支配株主持分	6	14
純資産合計	52,244	52,360
負債純資産合計	125,938	128,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	174,070	172,558
売上原価	158,981	157,626
売上総利益	15,089	14,932
販売費及び一般管理費	13,059	13,641
営業利益	2,029	1,291
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	60	65
不動産賃貸料	215	218
受取保険金及び配当金	215	284
持分法による投資利益	494	292
その他	134	239
営業外収益合計	1,130	1,106
営業外費用		
支払利息	226	152
不動産賃貸費用	70	78
その他	80	65
営業外費用合計	377	296
経常利益	2,782	2,100
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	24	—
関係会社株式売却益	—	5
特別利益合計	25	6
特別損失		
固定資産除却損	22	4
減損損失	0	47
災害による損失	79	—
特別損失合計	102	52
税金等調整前四半期純利益	2,705	2,054
法人税、住民税及び事業税	813	751
法人税等調整額	50	△111
法人税等合計	863	640
四半期純利益	1,841	1,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,838	1,405

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,841	1,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	△132
繰延ヘッジ損益	225	7
為替換算調整勘定	△32	△26
退職給付に係る調整額	9	2
持分法適用会社に対する持分相当額	17	19
その他の包括利益合計	325	△128
四半期包括利益	2,167	1,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,164	1,277
非支配株主に係る四半期包括利益	3	8

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。